



認定特定非営利活動法人

RASA-Japan ニュースレター

理事長 藤井 典夫

〒468-0014 名古屋市天白区中平2-2627 Tel/Fax 052-803-1649

ホームページ <http://rasa-japan.com> e-mail info@rasa-japan.com

郵便振替 口座番号 00890-4-31185

受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行 平針支店 普通 0037025

トクティヒエイリカソドウハウジンラサジャパン

2021.3
Vol.36

コロナ禍のため、現地活動をすべて中止しています！



理事長

藤井 典夫

日ごとに春めいてまいりました。皆様のご支援に心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、RASA-Japanの活動は、

1.フィリピンの学校建設活動

2.栄養失調児童救済のための給食支援活動

3.ボランティア派遣活動

の三本柱であることは皆様ご承知のとおりで、いずれも現地での活動がすべてです。

しかし、フィリピンに渡れない現在はいかんともできません。

1.学校建設活動

現地教育省とメールで情報交換を取りまして、2022年2月着工予定です。

今回の学校建設予定地は嵩上げ工事の必要性があるため多額の建設費がかかり、手持ち資金をつぎ込んで約500万円不足することが昨年6月に判明しました。

そこで、『クラウドファンディング』（詳細は次頁で）を立ち上げ、社員の皆様、日頃からご支援いただいている方々、ボランティア活動に参加されたOB・OGの皆様など、オールRASA-Japanのご協力をいただき、総力を挙げて募金活動を展開しました。

目標金額が500万円と大きいため、スタート当初は「無理かな…」、中盤以降は「ダメかな…」と頭をよぎりましたが、RASA-Japanの理念や方針、活動の実績や歴史をご理解いただき、北は北海道から南は沖縄まで全国からのご支援で、めでたく目標達成をすることができました。

クラウドファンディング成立の陰には、コロナ禍で報道しなければならない記事を抱えておられた中日新聞社編集局 森 若菜様、朝日新聞社報道センター 高原 敦様の努力とご協力に感謝いたします。

2.給食支援活動

フィリピンでは今なお登校不可能なため、栄養失調児童への給食支援ができない状態です。フィリピンの規制が緩和されましたら、現地へ渡航して契約書の調印や新しい体制に移行するためにスタッフの教育を行い、栄養失調の児童たちに質と量を充たす給食を提供する予定で準備をしておりました。

ところが、責任者の学校長が突然転勤されて、新任の学校長と連絡が取れません。電話やメールなどあらゆる手を尽くしていますが、全く連絡がつきません。先生方にも連絡をしておりますが音沙汰も無く、連絡と一日も早く渡航できる日が来ることを待っております。

栄養失調の子どもたちが命を落とさないように祈るばかりです。

3.ボランティア派遣活動

派遣活動が可能になれば、各大学で募集説明会を開催することになります。そのためにプレゼンテーション等の準備も必要です。

昨年2月に学校建設活動に参加された各大学毎に募集活動をしていただくリーダー、サブリーダーを決め、会議を3回（ビデオ会議を含む）を開き、活動再開の日に備えモチベーションを高めたまま臨む姿勢を持続していただいております。

いつでも活動再開ができるように、スタッフや学生リーダーの方々、役員の皆さんはやる気満々です。皆様の厚いご支援で、持続可能な活動に出来ると思えます。コロナ禍の影響で大変な中ではございますが、何卒よろしくお願いいたします。

クラウドファンディング報告は次頁で



クラウドファンディング 成立しました！

ご支援者各位のご理解とご協力あつての成立です。ここに改めて御礼申し上げます。

コロナ禍でも活動継続を！フィリピンの子ども達に安全な校舎を届けたい

[シェア](#)
[ツイート](#)
[LINEで送る](#)
[印刷で見る](#)

クラウドファンディングの報告書

◆プロジェクト開始前準備

・新聞掲載依頼—記事として掲載されることによって、RASA-Japanの活動やCFについて多くの方に知っていただけたと考え、中日新聞社と朝日新聞社に取材依頼をしました。

・手紙やSNS等でお知らせ—長年のご支援者であります皆様にご理解いただくために、CFの内容や代理支援についての説明とご支援のお願いをお手紙で、またできる限り多くの方にこのプロジェクトを知っていただくために、チラシ作成やSNS等で呼びかけをしました。

The diagram illustrates the financial flow between three main entities: RASA-Japan, Cloud Funding (represented by a laptop icon), and Donors (represented by a person icon).

- RASA-Japan:** Located on the left, it has a logo featuring a stylized flame inside a blue and red circular design.
- クラウドファンディング事業者 (Cloud Funding Business):** Represented by a laptop icon with a globe on its screen, located in the center.
- 支援者 (Donor):** Represented by a simple person icon on the right.

Fund Flow Details:

- A blue arrow points from RASA-Japan to the Cloud Funding Business, labeled "学校建設費不足分 500万円を集めたい!" (Want to collect 5 million yen for school construction cost shortage!).
- An orange arrow points from the Cloud Funding Business back to RASA-Japan, labeled "支援金総額-(手数料+消費税)" (Total support amount - (fee + consumption tax)).
- Orange arrows point from the Donor to both RASA-Japan and the Cloud Funding Business, both labeled "支援金" (Support money).
- A long blue arrow at the bottom points from the Cloud Funding Business back to the Donor, labeled "返礼品" (Reward).

Additional Information:

- At the top center, there is a green box containing the text "クラウドファンディングの仕組み" (Mechanism of Cloud Funding).
- To the right of the Cloud Funding Business, the text "READYFOR" is displayed next to its logo.
- Below the Donor, the text "賛同!" (Cooperation!) is written.
- Below the Donor's support arrow, the payment methods are listed: "・クレジットカード" (Credit card) and "・銀行振込" (Bank transfer).
- At the top right, there is a green box labeled "代理支援" (Proxy Support).

◆プロジェクト開始

CF事業者である「READYFOR」のサイトで、昨年12/1にRASA-Japanのプロジェクトページ【コロナ禍でも活動継続を！フィリピンの子ども達に安全な校舎を届けたい】を公開スタートしました。即時にご支援人数や金額、応援コメントが掲載されます。

序盤はご支援者様をはじめ、ボランティア活動に参加されたOB・OGの方々や初めての方からもご支援いただき、このまま成立へとつながれば…と思っておりました。

しかし、年末から1月上旬にかけて、ページの閲覧数や支援金ほとんど伸びず、目標金額が過大だったのではないかと後ろ向きの姿勢になり、不成立を8割覚悟していました。

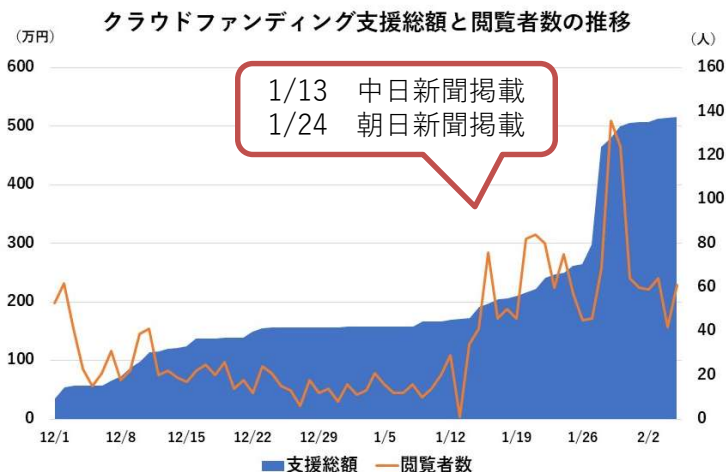
◆新聞掲載とビデオメッセージ

そんな中、1/13に中日新聞、1/24に朝日新聞に記事が掲載されました。今までRASA-Japanの活動を諸新聞に掲載していただいたことがありましたが、今回の2新聞社の記事は格別でした。

中日新聞社では、RASA-Japanの経緯とCFでの学校建設活動継続の協力呼びかけ、朝日新聞社ではコロナ禍で活動が窮状に陥っていることや支援のお願い、NGOの活動をコロナ禍で絶やしてはならないと、伝えていただきました。「新聞記事見たよ！」とお声かけいただいたり、ありがたいことにご支援が増えていきました。

そして、READYFORと何とか達成するための対策についてビデオ会議をしていた時に、電話が鳴りました。なんと、「新聞記事で活動を見て…」と地元メーカーの社会貢献委員会様から、大口支援の申し出をいただいたのです！おかげさまで目標金額にグッと近づき、達成へのアクセルが踏まれました。改めてマスコミの影響力の大きさを認識した次第です。

また、1/20、29にビデオメッセージで支援のお願い、1/29にFacebookでシェア祭りに初挑戦しました。インターネット上での呼びかけにどれほどの効果があるか未知数でしたが、この効果もあり、初めてご支援いただく方や多くのボランティアOB・OGからご支援をいただいて、目標金額500万円のゴールテープが近づいてまいりました。



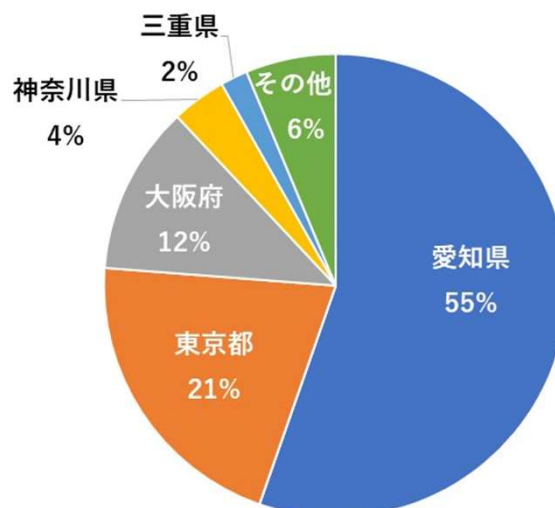
1/13
中日新聞



1/24
朝日新聞



クラウドファンディングページ閲覧者の地域



◆ボランティアOB・OGの支援の輪

ボランティアOB・OGの方々には、プロジェクトページへのご寄稿やSNS等で広報活動にご協力いただきました。

会えることを楽しみにしていた同窓会も中止になり肩を落としていましたが、このCF挑戦をきっかけに1人また1人とつながっていききました。連絡がつかなくなっていた方ともつながることができ、さらに絆が深まったことは、CFに挑戦した大きな利点です。(3組の結婚のご報告もいただきました！)

そして、支援の輪も広がっていききました。個々にコロナ禍の影響を受け大変な中、フィリピンの子どもたちに思いを馳せてご支援・ご協力していただけたことに胸が厚くなりました。温かい応援コメントに当時を思い出し笑みがこぼれ、「活動を継続してきて本当に良かった！」と心底感じ入りました。

◆目標金額500万円達成！

プロジェクトページの閲覧数と支援金が一気に増え、目標金額500万円に日に日に近づいていきました。「もうすぐ成立だ！」と氣にかけてくださる多くの方にご支援いただき、1/30に目標金額500万円を達成し、2/5に支援総額516.5万円で無事プロジェクト成立することができました。

振り返ってみますと、開始前後にCFに関するご説明が足りなかったと痛感いたしました。

インターネットを通して多くの方にRASA-Japanの活動を知っていただきご賛同・ご支援いただけて、2022年の学校建設が実現することになり、CFの凄さと力を強く感じました。

ご支援・ご協力いただいた皆様に感謝の言葉もございません。これほど多くの方に支えていただいているのだと再認識し、多くを学ぶ挑戦でした。皆様のご支援にお応えし、学んだことを生かして、今後もより一層頑張っまいります。

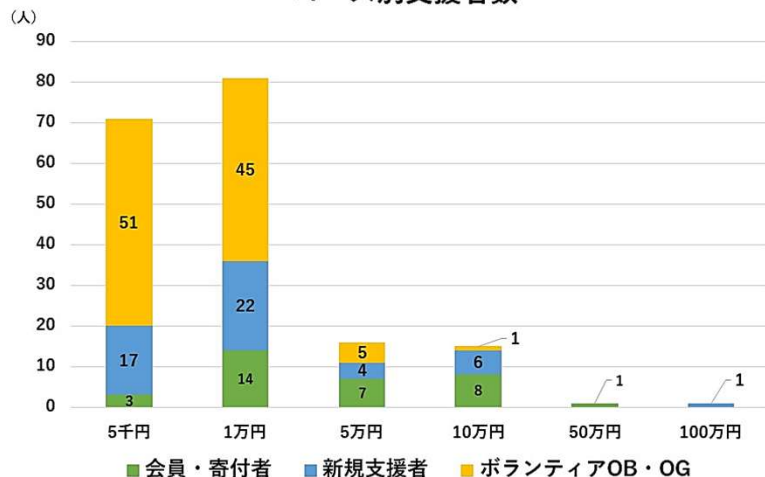
クラウドファンディング支援金報告

クラウドファンディング支援総額	5,165,000円
内訳 ・サイト内支援 150人 2,380,000円 ・代理支援 35人 2,785,000円	
READYFOR手数料17%+消費税	▲965,855円
差引受取額(4/9入金予定) ※学校建設費として使用させていただきます。	4,199,145円

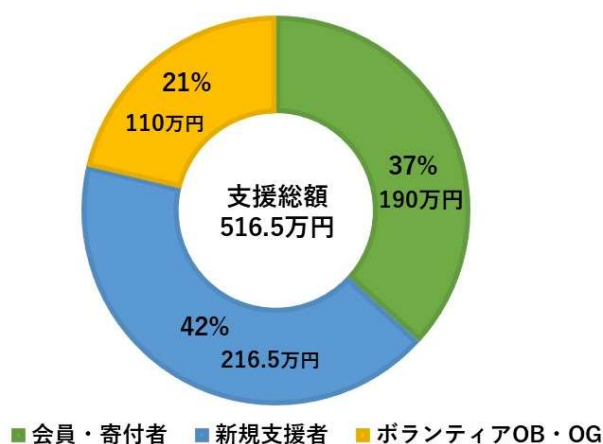
支援者内訳

新規支援者	50人	216.5万円
会員・寄付者	35人	190万円
ボランティアOB・OG	100人	110万円
合計	185人	516.5万円

コース別支援者数



支援金比率



たくさんの応援コメント

応援コメントをいただき、誠にありがとうございました。読む度に励まされ、勇気づけられました。一部を簡単にまとめて、ご紹介させていただきます。

- ・フィリピン出張で見た、子どもたちの瞳の輝きは今でも忘れられません。成功を願っています。
- ・学ぶことで、明るい未来を歩めるように。子どもたちの未来に光が届きますように。
- ・長期間持続されている活動には頭が下がります。
- ・フィリピンの子どもたちに盗まれることのない財産である教育を受ける機会を提供し、ボランティア活動を通して日本の学生達もまたその機会を得る、有意義な循環を生む活動に賛同します。
- ・より長くこの活動が続き、多くの子どもたちの笑顔が見られることを祈っています。
- ・RASA-Japanの活動は自分にとって大きな財産で、心の支えになっています。
- ・出来上がりましたら、ぜひ見に行きたいです。

今後のスケジュール

2022年学校建設は、下記スケジュールで行ってまいります。
日本だけでなく、フィリピンにおける新型コロナウイルス感染症対策等のため、スケジュールに遅れが生じる可能性がある事をご了承ください。その際は、ホームページやSNS等でご報告させていただきます。

2021年	4月	返礼品「寄附金受領証明書」送付（15日発送開始予定）
	10月	契約
2022年	2月	着工
	5月	竣工



建設予定地



完成予想図

よくいただいたご質問 「All or Nothing 方式って何？」

CF前に詳しくご説明することができず、申し訳ございませんでした。

CFで資金を募集する方式は、「All or Nothing (オールオアナッシング) 方式」と「All In(オールイン) 方式」の2種類があり、今回の挑戦は目標金額が大きい為、もし失敗しても手数料が0円となり、支出費用が最小限となることから、「All or Nothing方式」を選択いたしました。

	All or Nothing方式	All In方式
目標金額達成	支援金総額－(手数料+消費税)	支援金総額－(手数料+消費税)
目標金額未達成	0円(手数料は発生しない)	集まった支援金総額－(手数料+消費税)
特 徴	・目標金額に1円でも足りないと0円となり、集まった支援金は支援者に全額返金となる。 ・そのため、挑戦に対する覚悟や意気込みがより伝わりやすくなる。	・支援総額が目標金額に達した否かにかかわらず、1円以上の支援があった場合、クラウドファンディングが達成となる。 ・支援総額が1円でも、手数料が発生する。

現在フィリピンでは、新型コロナウイルス感染が再び拡大しています。昨年末から新規感染者数が減少傾向にありましたが、1月下旬から増加傾向に転じ、2月下旬から新規感染者数が2千～3千人前後で推移しており、新たな変異ウイルスの感染が拡大しています。総感染者数も3月10日に60万人を超え、失業率も8.5%（日本 2.9%）となり、大勢の失業者が出ています。

3月に入り、中国製のワクチン接種が始まりました。9月までに6000万回分のワクチンが到着する予定です。2月の接種開始予定がずれ込みましたが、迅速に広く接種が実施され、感染が収束にへ向かいますことを祈るばかりです。

公立の小中高校は、最新の情報では7月9日まで休校。給食支援活動を行っていますサウスビル I 小学校は、首都マニラからの強制移住者が多く、また極貧の家族が多いエリアです。1日に1食食べるのがやっとの児童もいて、外出禁止令で日雇いの仕事ができず無収入になっているのではないかと

考えると、子どもたちの安否が心配です。

先生方が学校へ来られるのは週2回の短時間のみで家庭訪問も不可であるため、情報を得ることができません。また、1頁でお伝えしましたとおり、学校長の交替等があり、パソコンも学校にしかないため連絡が取れない状況です。

給食支援活動開始から10年を経て、地区の外観は少し豊かになったように見えます。しかし、居住者の大部分極貧の社会的弱者は栄養失調の人が多く、病気になっても治療を受けることができません。経済発展の恩恵はなく、むしろ格差が拡大し、貧困の連鎖の中に置かれています。

新型コロナ規制解除後の支援要請に応えることができるように、子どもたちの命と健康の維持ができる支援をしたいと考え、準備をしております。

引き続きRASA-Japanの活動へご支援賜りますようお願い申し上げます。

毎年継続的に活動を支援いただける方(会員・賛助会員)を募集しています！

資料をお送りいたしますので、RASA-Japan事務局までご連絡ください。

(TEL 052-803-1649 Mail info@rasa-japan.com)

※「遺贈によるご寄付」、「相続財産のご寄付」は、相続税が免除されます。お志のある方はご連絡ください。

◆「寄附金受領証明書」発行を年1回に変更します

令和3年1月1日より経費削減のため、「寄附金受領証明書」を1年分おまとめして年末に発行する形式に変更させていただきます。何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

●令和2年まで-賛助会費、寄付をいただいた都度発行

●令和3年から-年末におまとめして発行、翌年1月発送

※その都度発行をご希望される方は、RASA-Japan事務局(TEL 052-803-1649)までご連絡ください。

今後の活動予定

学校建設準備とフィリピン情勢が整い次第、給食支援活動再開できるように準備を進めてまいります。

4月 クラウドファンディング返礼品「寄附金受領証明書」発行&郵送(15日発送開始予定)

5月 定期総会(開催日時・詳細につきましては、後日ご連絡させていただきます)

10月 学校建設契約

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



@rasa_japan



@rasa.japan



@rasa_japan

